

## 座長 矢澤祐史の ありのまま、 心のまま vol.10

おもて面のあいさつ文でも触れましたが、10月にはリチャード・モス先生を迎えて講座を準備中です。彼の推薦文をアメリカの人気スピリチュアル・ティーチャーであるマリアン・ウィリアムソン氏が寄せてくれました。今回はこちらをご紹介します。

### OUR DEEPEST FEAR 〜もっとも怖れているもの

人生の色々な場面で、私たちが前に進めなくするもの、それは私たちの抱えている「怖れ」です。

でも、その「怖れ」をよく見てみると、その「怖れ」は、自分が思っていたものとは違うものだったりします。私たちがもっとも怖れているのは、自分の無力さではありません。とてつもなくパワフルな自分を一番怖れているのです。私たちが怯えているのは、自分の闇の部分ではなく、光としての自分なのです。

「自分ってどういう人なのか？」と自問してみた時、聡明で、輝かしく、才能に溢れ、素晴らしい人間だなんて思えるでしょうか？

本当は、あなたがなれないものは何もないのです。あなたは神の子だからです。自分を過小評価して生きたとしても、世界に貢献することはできません。周りの人に不安を与えないように縮こまって生きていても、誰のためにもなりません。

輝く子どもたちのように私たちはみな、光り輝く存在なのです。内なる神の栄光を表現するために私たちは生まれてきたのです。

神の栄光は、だれか特定の人だけにあるものではありません。私たち一人ひとり、みんなの中にあるのです。

そして、私たち一人ひとりが輝けば輝くほど、何も言わなくても「みんなも輝いていいんだよ」と伝えることになるのです。

私たちが自分の怖れから解放されれば、私たちが存在するだけで他の人々も自然と怖れから解放されることになるのです。だから、自分の怖れを乗り越えることは聖なる神の仕事なのです。それはあなたのためだけでなく世界中の人々、みんなのためになるのです。

私たちがもっとも  
怖れているもの、  
それは…!?



## ONENESS MIND ゲストコラム

ワンネスグループに縁のある方からのメッセージをお届けします！

vol.6

コモンセンス・  
ベアレンティングトレーナー  
芦田むつみさん

### ●Profile

ワンネスグループにおいて、子ども・家族支援を主に担当。海外で効果を上げているベアレンティングのトレーナー資格を持ち、重度の機能不全家庭への介入、非行化が進んだ少年の更生などに尽力している。自身は、親と一緒に暮らせたくなった子どもたちと約1年半にわたって共に生活していた経験を持つ。

ワンネスグループにおいて、子ども・家族支援を主に担当させていただいております。先日は、東京で行われた勉強会において「子どもにとっての依存症」というテーマで、支援経験を踏まえたお話をさせていただきました。

私がワンネスグループに関わらせていただくようになったのは、数年前。その当時、「依存症」という言葉はあまり聞き慣れませんでした。ワンネスグループを通して色々な方々と知り合う中で、アディクト（依存症者）とは、溢れ出すエネルギーを毎日コントロールしなければならない、波乱の多い人生が待っているけれど、それに挑戦する魂の強さを持ち合わせた人たちだと感じるようになりました。常に果敢に新しいことに挑戦し、前に進み続ける「生き物」のようなワンネスグループの活躍には、いつも多くの感動や深い学びをいただきます。当事者一人ひとりにインパクトがあることは、間違いなく社会にもインパクトがある。依存症に社会の注目が集まって来ている今、時機を得て、ワンネスグループがさらに発展していくことで、依存症を超えた、人としての在り方について、社会に多くの示唆を与えていくのではないかと期待します。

※芦田さんにワンネスグループコラムを執筆いただいています。ぜひお読みください。

「子どもにとっての依存症～レジリエンスにまつわる物語～」  
<http://www.oneness-g.com/resilience/>

### ～ONENESS GROUPにご支援を～

平素はワンネスグループの活動に、ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。皆さまの温かなご支援は、私たちの活動の励みです。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 【献金してくださった方(五十音順)】

青木みどり様／太田いつみ様／香川英司様／梶川虔二様／加藤キヨ様／(株)74産業代表取締役 大城卓巳様／後藤定子様／後藤正憲様／高嶋昌司様／高嶋康伸様／田口大輔様／田中派代様／樽角トミ様／奈良総合法律事務所 内橋裕和様／奈良総合法律事務所 荒木秀夫様／奈良総合法律事務所 倉橋毅至様／奈良総合法律事務所 東稔忠幸様／なら法律事務所 朝守令彦様／廣田美知子様／冬木宏子様／松河時子様／村西黄宝様／山崎靖子様／(有)川西ウィング様…その他匿名の方

#### 【献品してくださった方(五十音順)】

今村ふみ江様／カープス様…その他匿名の方  
(4月15日分まで掲載)

「依存症を知るセミナー」を通して  
奈良県内の各団体と  
連携を深めています。



奈良セミナーは夜間開催にも関わらず、多くの方にお越しいただいています。

ワンネスグループでは、奈良県内で「依存症を知るセミナー」を定期的に開催しています。5月10日のセミナーは、エルトピア奈良(奈良市)を会場に、依存症と関連の深い「生きづらさ」をテーマに開催。依存症当事者やご家族の方だけでなく、宇陀郡御杖村の民生委員の皆さまにもご参加いただきました。依存を止め続けていくための社会資源や、「生きづらさ」に焦点を当てた支援などは、社会全体で考えていきたいこと。理解や支援の輪が広がることで、依存症の予防にも繋がるのではないのでしょうか。各地のセミナーには、実際に依存症者に関わっていらっしゃる医療、福祉、行政、司法などの関係者がお越しいただき、連携を深めていく場ともなっています。皆さんも一度、「依存症を知るセミナー」にぜひご参加ください。

### ★献金はこちらへお願いいたします★

ゆうちょ銀行 店名)四五八 店番)458  
普通口座)0387467  
口座名)ワンネスグループ依存症関連問題基金

### 【編集人】

Healing Garden Care Center 代表:矢澤祐史  
〒635-0065 奈良県大和高田市東中2-10-18  
TEL0745-22-0207 e-mail:info@garden-ag.org

### 【発行人】

関西障害者定期刊行物協会  
〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階  
定価:100円

### イベント情報 【すべてのお問合せ】

TEL 0745-24-7766(ワンネスグループ本部)／<http://oneness-g.com>

ワンネスグループでは全国各地で依存症に関するイベントを行っています。詳しくは各イベントのチラシ、またはワンネスグループのホームページをご覧ください。スタッフ一同お待ちしております！ぜひお近くの会場へお出かけください！

### ★依存症を知るセミナー★

【福島・郡山市】5月21日(土)13:30～16:30  
郡山市民文化センター 第3会議室(郡山市堤下町1-2)

【宮城・仙台市】5月22日(日)13:30～16:30  
生涯学習支援センター 第2セミナー室  
(仙台市宮城野区福岡4-1-8)

【兵庫・神戸市】5月28日(土)13:30～16:30  
兵庫県中央労働センター 202号室  
(神戸市中央区下山手通6-3-28)

【岐阜・岐阜市】6月15日(水)13:30～16:30  
岐阜文化センター 第2会議室(岐阜市金町5-7-2)

【大阪・大阪市】6月16日(木)18:30～20:30  
ドーンセンター 中会議室2  
(大阪市中央区大手町1-3-49)

【京都・京都市】6月25日(土)13:30～16:30  
京都社会福祉会館第1会議室  
(京都市中京区丸太町上京猪熊下中之町519)

【奈良・奈良市】7月19日(火)14:00～16:00  
エルトピア奈良小会議室 1(奈良市西木辻町93-6)

### ★女性の依存症と回復セミナー★

【愛知・名古屋市】5月27日(金)13:30～16:30  
ウィルあいちセミナールーム5  
(名古屋市中東区上堅杉町1)

### ★沖縄地区セミナー&相談会★

【沖縄・那覇市】5月21日(土)18:30～20:30  
沖縄県男女共同参画センター ている2階会議室 1&2  
(那覇市西3-11-1)

6月18日(土)、7月16日(土)18:30～20:30  
沖縄県総合福祉センター 研修室401  
(那覇市首里石嶺町4-373-1)

【沖縄・石垣市】6月11日(土)13:30～16:30  
石垣市健康福祉センター 2階会議室  
(石垣市登野城1357-1)

【沖縄・宮古島市】7月9日(土)13:30～16:30  
宮古島市中央公民館2階研修室  
(宮古島市平良下里315)

※参加費無料、当日の参加可能、終了後、相談を受け付けます  
(人数に限りがありますのでご了承ください)。

※郡山、仙台は参加費1000円(資料代、会場費として)

### メディアで紹介されました！

#### 【新聞・雑誌】

3月1日 産経新聞／セレニティーパークジャパン取材  
4月8日 奈良日日新聞／薬物依存からの脱却へ 経験者の声  
4月16日 沖縄タイムス／依存症を知るセミナー in那覇市  
4月13日 産経新聞／薬物依存症者の支援について

#### 【テレビ】

3月17日 毎日放送「ちちんぷいぷい」／薬物依存は回復できる？～経験者が語る、依存克服の難しさ～施設の回復プログラム取材  
3月23日 読売テレビ『かんさい情報ネットten.』／若者の薬物依存回復  
3月31日 朝日放送『キャスト』／フラワーガーデン施設特集「回復への一歩」  
4月9日 BS-TBS「土曜ニュースまるわかり」／中高年のギャンブル依存の予防・啓発・対応について  
4月13日 朝日放送『キャスト』／バドミントン選手間ギャンブル問題について三宅副代表のコメント

#### 4月20日

毎日放送「ちちんぷいぷい」／  
依存せずに生きられる？～家族・仕事・命が奪うもの～  
BS-TBS「外国人記者は見た! 日本inザ・ワールド」／  
スポーツ選手の違法賭博問題 日本人のギャンブルに対する向き合い方

ワンネスグループの活動が、新聞やテレビなどで紹介されました。

グループのホームページでは記事をご覧くださいませ。 <http://oneness-g.com>

#### 【ラジオ】

毎週火曜 9:40頃～ FM沖縄Fine!／  
「リカバリーアライブ 依存症を生きる」  
※大城勝太さんパーソナリティの番組内で、  
SPJ沖縄スタッフが出演中

取材のお問合せ・お申込み  
ワンネスグループ本部  
TEL 0745-24-7766

## KSKS GARDENの記録

# Oneness Mind

ワンネスマインド

vol.10

依存で困ったらワンネス 検索

薬物、ギャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート

ONENESS GROUP

ワンネスグループ

依存症でお困りなら  
ご相談ください。

依存症相談ダイヤル(受付時間10:00～17:00)

0120-111-351

依存症SOS相談メール:sos@oneness-g.com



LINE公式アカウント開設!!  
ID@[oneness-g]で検索を!  
私たちとつながりましょう!!

## グループの新たな展開にご期待ください！

4月に発生した熊本・大分地震で被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一刻も早くインフラの復旧や日常生活が回復されることを、ワンネスグループ一同、お祈り申し上げます。

### ●沖縄で新展開を準備中

さて、一般社団法人GARDENでは、薬物問題への相談件数が増加を続けています。現在ほどの施設も定員がいっぱいで、これ以上の受け入れが困難な状態です。この状況を受け、新たな施設を設立すべく準備を進めております。場所は沖縄・南城市。自然豊かな沖縄のすばらしい風土を活かした施設を立ち上げることで、回復者も増え、さらには回復者の雇用も生まれます。私たちの思いを体現した施設を、またひとつ開設できること、新たな出会いが生まれることに胸の高まりを感じずにはられません。もう1件。ワンネスグループが就労支援プログラムの一環として、経営してまいりました名古屋にあるラーメン店も、沖縄へ出店が決定し、準備が進んでおります。沖縄で私たちの味が、さらに多くの方に楽しんでもらえるよう、スタッフ一同、張り切って準備をしております。どちらも6～7月には新しい出発ができる予定です。次号のニュースレターでは詳細をお伝えできるかと思いますので、ご期待ください。

### ●スペシャルワークショップの季節到来!

6月からスタートするスペシャルワークショップも、着々と準備が進んでいます。まず6月2日から、エリクソン催眠の認定コースが開催されます。2回目となる今年は、前年も開催しましたプラクティショナーコースに加え、上級のマスタープラクティショナーコースを実施。今年はミルトン・エリクソン医師のご息女、ロクサーナ・エリクソン・クライン博士に加え、同僚のダン・ショート博士も来日し、教鞭を振るっていただきます。ダン先生は、ロクサーナ先生と共著で『ミルトン・エリクソン心理療法～＜レジリエンス＞を育てる』を上梓され、エリクソン財団の要職を務められた方。お互いに尊敬を惜しまない間柄のお二人が、今回は練りに練った珠玉のワークショップを用意してくださっています。

7月末からはルーカス・ダークス先生を再度、日本にお迎えし、ソーシャルパノラマの講座を開催します。今回はさらに上級認定コースも用意。またワンネスグループ内に、プロジェクト事務局としてソーシャルパノラマジャパンを立ち上げました。プログラムの日本語化、認定コースの主催、日本における認定資格の一括マネージメント、心理学など他団体との協力などを担います。事務局ホームページから、メンタルスペース心理学の紹介資料が無料ダウン

ロードできますので、ぜひご覧ください。

さらに10月にはアメリカより、リチャード・モス先生をお招きして「マンダラ・オブ・ビーイング ディープワン認定コース」を、日本初開催します。自分と深く向き合うことで「気づきの力」を高め、自分本来の生き方を学びます。こちらも特設ホームページがありますので、ぜひご覧いただき、本来の自分らしい人生を歩むことについて、興味を深めていただきたいと思います。

### ●自然とともに歩み、生きること

日々、天命を果たさんと熱意を注ぎ込んでも、ことあるごとに自然への畏敬の念を思い起こさせられます。これから、梅雨や台風のシーズンを迎えますが、気の流れに柔軟に対応できるよう心穏やかに過ごしたいと思います。様々な方との支え合いの中で、私どもの活動がかなえられていることに改めて思いをはせ、感謝の気持ちで日々の取り組みに一層注力してまいります。皆様もぜひご自愛のほどを、そして今後とも貴重なご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

2016年5月  
一般財団法人 ワンネスグループ  
代表理事 矢澤祐史



ONENESS GROUP

ワンネスグループ

ワンネスグループのエネルギーは、今、全国に広がっています。



一般社団法人 GARDEN  
(奈良)  
薬物・アルコール・ギャンブル  
などの依存症治療共同体



日本ファミリーインタベンションセンター  
(奈良・名古屋・沖縄・東京)  
本人を説得し治療へ繋げるサポート  
依存症家族のための相談窓口



一般社団法人 セレニティ  
パークジャパン(奈良)  
ギャンブル・アルコールなどの  
依存症治療共同体



一般社団法人 セレニティ  
パークジャパン(名古屋)  
薬物・アルコール・ギャンブルなどの  
依存症治療共同体



一般社団法人 セレニティ  
パークジャパン(沖縄)  
(那覇・南城)  
薬物・アルコール・ギャンブルなどの  
依存症治療共同体



フラワーガーデン(奈良)  
女性専用の依存症や  
生きづらさなどの  
依存症治療共同体



## 依存症から子どもたちを守る！

北欧・フィンランドで学んだ、  
依存症予防啓発の最先端

3月29日～31日

ワンネスグループ副代表／セレニティパークジャパン代表  
三宅隆之(精神保健福祉士)

●子どもたちへの支援、幅広い予防啓発のあり方を学んだフィンランド「子どもたちと依存症」を考えた時、インターネットやスマートフォン、ゲーム依存など、子どもたちがその主体となるケースは分かりやすいのですが、一方、依存症を抱える大人たちの影響を子どもが被るという問題については、目が届きにくいのが現状ではないでしょうか。悲しみ、傷ついた子どもたちが、将来的に依存症者本人となってしまうことは、少なくありません。大人世代の依存症を防ぐことはもちろん、周囲の人の依存症の影響を受けている子どもたちに、速やかに支援の手を差し伸べていくことが必要です。ワンネスグループは、すでに若者向け啓発活動、相談活動を行っており、子ども向け絵本の出版も進めています。このような問題意識を持つなか、フィンランドから世界に発信されている、とある動画がきっかけとなり、私とSPJ 沖縄代表の位田、通訳スタッフ和田の3人が首都ヘルシンキへ飛びました。北欧の国、フィンランドは若い人を中心に人気の高い国で、10年前に公開された映画をきっかけに日本からも女性旅行者が多く訪れています。社会保障が充実していて暮らしやすく、インテリアなどデザイン性が高いものがたくさんあるオシャレな国というイメージがありますが、一方でアルコール依存が社会問題となっており、問題解決に向けて、国をあげて取り組んでいます。問題解決の先頭をいく団体のひとつが、今回お世話になったNPO、A-Clinic 財団です。

財団が2011年に行った、12歳から18歳の若者への調査によると、親の飲酒によって24%が時々、2%がしばしば危害を受けているとの結果が出たそうです。

- ・子どもは恥と罪の意識から解放される必要がある
- ・子どもは大人の行動について責任がない
- ・子どもは家庭内で起きていることについて、恐れることなく話をして、親を裏切ったと感じないですむようになるべき
- ・子どもに家庭外に安全で肯定的な環境を提供する必要がある

このような考えの下、子どもたちに対するサポートとして、財団内で活動しているプロジェクトが「Fragile Childhood (壊れやすい子供時代)」。実は、このプロジェクトを通じて制作された広報CM「MONSTER」を、ワンネスグループ代表の矢澤が目にし、先方へ訪問を打診したところ、快く応じていただいたことで、今回の機会が生まれました。

今回の訪問では、プロジェクトスタッフのミンナさんに充実した予定を組んでいたことができました。初日は、ヘルシンキの財団本部で、主任医師のシモヨキ氏からフィン



私たちを温かく迎えてくれたA-Clinic財団の皆さんと

ランドにおけるアルコールの消費、問題、治療についてレクチャーがあり、財団の取り組み、Fragile Childhood の取り組みの詳細を話していただきました。「お父さん、お母さんの飲酒について話しても大丈夫なんだ」と、子どもがヘルプラインにアクセスできるよう、プロジェクトは様々なツールやコンテンツ開発に知恵を絞っている様子が伺えました。午後からはMONSTERを制作した広告会社のディレクターのマルコ氏から動画制作の意図を深くお聞きしました。

財団だけではなく、フィンランド国内で同様の問題意識をもった他団体のお話を伺う機会もありました。2日目には朝からフィンランド薬物乱用防止協会(EHYT)で、乱用防止啓発のレクチャーを受けました。元々はアルコールと薬物についての対策を行っていた団体ですが、最近はギャンブルやゲーム依存についても取組みを広げているそうです。各年代(子ども、若者、大人)にどのような目的で何を、どのツールを通じて支援を提供するのか、非常に勉強になりました。印象に残ったことはアルコールや薬物の使用について、全体的な議論を喚起すること、啓発の中で大切だということ。広告会社のマルコ氏も同じことを言われており、こういった姿勢は日本でもどんどん取り入れていきたいと思っています。

最終日には、財団が運営する依存症ケア専門の病院と、病院内にあるTC(治療共同体)も見学しました。依存症からの回復支援という点での共通性を感じた一方、依存症そのものについての啓発手法や、その影響から子どもを守り、将来的な依存症者増加を防ぐという啓発手法は、日本においてはこれからだと感じました。そういった意味で、今回の訪問はイマジネーションが膨らむすばらしい機会となりました。



A-Clinic財団のスタッフと意見交換を行いました。YouTubeで「Fragile Childhood」と検索すれば、彼らが制作したメッセージCMが日本でもご覧いただけます

## A-Clinic 財団について

様々なレベルで多面的な専門サービスを提供することで、アルコール、ドラッグ、その他の依存症の問題を減らそうと行動している、フィンランドでも最大の組織のひとつ。Fragile Childhoodは、親の薬物、アルコール乱用で苦しむ子供たちが、より生きやすくなるよう保証する有効な方法を、新たに探していくというプロジェクト。活動はフィンランド・スロット・マシン協会(Finland's Slot Machine Association)の基金によって運営されている。

## From Okinawa

沖縄の動きが活発化しています！  
新施設、ラーメン店を準備中

沖縄はワンネスグループの活動拠点のひとつ。依存症からの回復には環境が非常に大切だと、私たちは考えています。依存に苦しんだ土地を思い切って離れ、沖縄という豊かな自然あふれる環境の中、自分自身と向きあい、着実に回復の道を歩んでいるクライアントが大勢います。沖縄での活動が活発化するなか、この度、新しい施設を南城市に開設することとなりました。今、スタッフは毎日準備に大忙しです。自然あふれる沖縄の地に、ワンネスの雰囲気や体現した施設をまたひとつオープンさせることは、私たちの目標のひとつでした。今、その思いが形になる日が着々と近づいていることに、一同、胸が高まっています。

さらに加えて、依存症者の就労支援事業のひとつとして、名古屋で実績を積み上げてきたワンネスグループのラーメン店が、那覇市でもオープン準備中です。ただ今、



メニューの最終調整をしています。名古屋だけでなく、全国のラーメンファンにも高い評価をいただいているラーメン店の新たなチャレンジに、どうぞご期待ください。また沖縄を訪れた際には、ぜひお立ち寄りいただくと、スタッフ一同うれしく思います。

私たちは、地元の方のご支援とご指導があり、ここまで成長することができました。今後も沖縄でさらに多くの方々と連携を深めていきます。

## 悩みを抱える少女を支えたい！

## 「若草プロジェクト」にフラワーガーデンが参加。

4月24日～25日 in 京都

フラワーガーデン代表  
オーバーヘイム容子

今、貧困や虐待、性被害などの問題で苦しむ10代の少女が増加していることをご存じでしょうか？ 社会のなかで、行き場を失い、薬物依存などにつながっている少女も、驚くほどたくさん存在しています。それが見えにくいところに社会の構造的な危機を感じています。そんな中、作家で僧侶の瀬戸内寂聴さんと、前厚生労働事務次官の村木厚子さんが呼びかけ人代表となり、問題を抱えている少女を救うための全国ネットワーク「若草プロジェクト」を立ち上げると聞き、ワンネスグループもダイバージョンセンターの菅原直美弁護士を中心に、準備段階から携わらせていただきました。

そして迎えた4月24日、プロジェクトのキックオフの日。京都市にある「寂庵」で開催された初めての研修会には、全国からさまざまな団体の支援関係者約60名が集まりました。ワンネスグループからも、菅原弁護士とともに、フラワーガーデンのスタッフが参加。会場では各団体、支援者の方が、積極的に意見を発し、どの話も少女たちへの想いがあふれる充実した内容となり、「こんなに真剣に少女のことを考えている大人がいる」と胸が熱くなりました。私たちもフラワーガーデンの取り組みについて発表させていただくことができました。多くの方が発言をされる中、私たちができることに、さらに広がりを感じることができ、また支援者としてエネルギーをいただくことができました。こういった活動にぜひ興味を持っていただき、応援していただきたいと思います。

生きることは、愛すること！



「生きることは、愛すること！皆さん、ロマンスを楽しんで」と声をかけてくださった寂聴先生と記念撮影。存在自体がキラキラに輝かれていました

## 若草プロジェクトとは

貧困、虐待、ネグレクト、DV、いじめ、性的搾取、薬物依存、育児ノイローゼ…。社会の抱える様々な問題に翻弄され、苦しむ少女・若い女性たち。自分の問題が本当は何であるかも分からず、心の間に小さな何か(SOS)を抱えながら生きる女性たちに支援者を繋げるための活動。賛助会員を募集し、年数回の研修を予定。幅広いネットワークの構築を目指している。

詳しくはこちらを 若草プロジェクトHP <http://wakakusa.jp.net/>

## Information

魅力的な海外講師が続々来日！  
見逃せない講座ラインナップをご紹介します

6月から秋にかけては、海外講師をお招きして、魅力的な講座やワークショップが続きます。どの先生も、豊かな経験と高い実績があり、人間的にもすばらしい方ばかり。一緒にいるだけで、自分自身の成長が感じられるような人生のマスターです。今回は講師の皆さまを一挙ご紹介します。ひとりでも多くの方と、豊かな時間をともに過ごすことができるよう願っています。

## 「自分」を磨く新たな旅へいざなう講師陣

6月

●エリクソン催眠プラクティショナー・  
マスタープラクティショナー認定コース

ロクサーナ・エリクソン博士／ダン・ショート博士

対人支援関係者や心理療法家など、心理学を学ぶ方には有名なエリクソン催眠。開発者のミルトン・H・エリクソン氏の教えを受け継ぐ、ロクサーナ・エリクソン博士の昨年のセミナーは、非常にハートフルで参加者との一体感のあるものとなりました。再来日の今回は、エリクソン財団の要人であるダン・ショート博士とのW講師が実現。レジリエンスを手に入れるためのワークに注目が集まります。

7月8日



## ●ソーシャルパノラマコンサルタント認定・上級認定Ⅰ・Ⅱコース

ルーカス・ダークス博士

昨年、日本で初開催され、参加した心理学を学ぶプロをも驚かせたソーシャルパノラマ。シンプルながら、自分が抱えている人間関係を客観的に表現し、問題の見える化をさせ、解決の糸口を提示する方法は、非常にあざやか。すでに国内で、ルーカス先生の教え子たちによるソーシャルパノラマワークショップが開催されています。今回は上級コースも用意。

10月



## ●マンダラ・オブ・ビーイング ディープワン認定コース【日本初開催】

リチャード・モス医師

開業医を営んでいたが、1977年に自然発生的な啓示を受けたことで、人間の意識や行動への理解が根本的に変容し、精神世界への学びを始めたリチャード・モス医師。「マンダラ・オブ・ビーイング」では、「自分がどんな人間かは、この瞬間に決まる」とし、人生を深く見つめ直し、本来の自分を生きるための気づきを得て、自分の内側から変容を起こすためのトレーニングを行います。

## ＼もっと詳しく知りたい!!! /

どの講座もワンネスグループホームページ内に特設サイトを開設しています。  
無料でダウンロードしていただける動画や資料なども用意していますので、ぜひご覧ください。